



耐久 ~真健美~



平成25年度
和歌山県立耐久高等学校 全日制
Monthly Times February
マンズリータイムズ 2月号

◆ 2年生学年発表会について

4日(火) 2年生を対象に、学年発表会が行われました。この発表会は、2年生各自が社会問題について研究し、それをまとめ、発表し、討論する力を身につけることをねらいとしています。生徒は当日までに、種々の社会問題の中から研究したいテーマを設定し、担当の先生の助言を受けながら、800字程度のレポートを作成します。当日は、2年生全体を12の分科会に分け、各自が自身のレポートを元に発表し、そのテーマにそって討論を行いました。今年度も、環境、国際、社会生活、教育など、多岐にわたる内容について、発表・討論が行われました。分科会によっては活発な議論が展開されたところもあり、終了後の感想はたいへん好評でした。



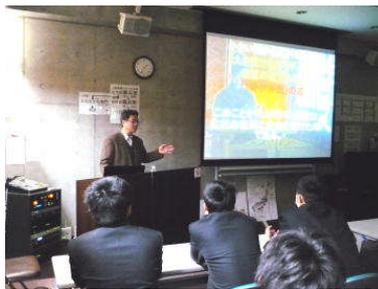
◆ 1年生沖縄修学旅行について

5日(水)~7日(金) 1年生を対象に2泊3日で、沖縄への修学旅行が行われました。5日、広川町役場前をバスで出発、伊丹空港から航空機で那覇空港に向かいました。午後は平和学習として、ひめゆりの塔を見学し、平和祈念資料館において、屋嘉比柴三さんによる平和講演及び平和セレモニーが行われました。講演内容は69年前の沖縄で起こった様々な惨状や当時の生活なども含め、戦争の悲惨さについてお話しいただきました。終了後、クラス別に壕の見学と研修が行われました。第2日目の午前中は、クラス別体験研修として、シーカヤック、シーサー作り、洞窟探検など、事前に計画した体験研修を行いました。また午後は、美ら海水族館の見学を行いました。夜は、沖縄アクターズスクールとの交流会があり楽しい時間を過ごしました。第3日目は、班別行動によるタクシーブランチを行いました。生徒は3~4人の班に分かれ、各班が事前に計画した訪問先を見学し、那覇空港から帰路につきました。今回は、天候は曇りの日が多く、青い海をあまり見ることができませんでしたが、暖かい沖縄で、さまざまな学習や体験・交流ができたことで、思い出に残る行事となりました。



◆ 「稲むらの火の館」防災学習について

12・13日及び19日の3日間にわたり、1年生全員を対象に、広川町「稲むらの火の館」で防災学習が行われました。「稲むらの火の館」は、本校の創始者であり、安政の大津波から人々を守った「いなむらの火」の物語で世界的に有名な、濱口梧陵氏に因んで建てられました。この施設では、濱口梧陵氏の功績を知るとともに、来たるべき災害にどのようにして備えるべきかを学習することができます。参加生徒は、熊野享館長から「いなむらの火」の物語とエピソードを聞き、地震や津波の恐ろしさや濱口氏の功績に学ぶ3Dの映画を鑑賞しました。また館内にある展示やクイズを通して、来たるべき災害に備えるための基礎知識を得ることができました。地震や災害に対する関心が高まっている中で、自らの命をどう守るかを考えるため、有意義な研修の機会となりました。



◆ 卒業生を送る会について

13日(木)「3年生を送る会」が開催されました。始めに、学校長より「図書館貸出冊数1位」、「3年間皆勤賞」の生徒が表彰されました。今年度の図書館貸出冊数1位は、3年生垣本哲志くん(263冊)皆勤賞は9名の3年生生徒が表彰されました。続いて3年生を送る会実行委員会作成の映像が上映されました。この映像には卒業生たちの耐久高校での思い出の場面やエピソードなどが盛り込まれ、3年生はそれぞれの高校生活を感慨深く振り返っていました。その後3年生は卒業を前に、1、2年生との交流はこれで最後となり、後輩に思いを伝えるすばらしい機会となりました。



3月の予定

2/27~5日	学年末考査
3日	第66回卒業証書授与式
11日	平成26年度入学学力検査
14日	津波避難訓練・防災教育
17日	特別教育活動体験発表会
19日	合格発表
24日	修了式

